

第80回病診連携委員会要録

日時	平成29年3月27日（月） 午後7時45分	
場所	浪速区医師会	会議室
出席者	浪速区医師会	7名
	愛染橋病院	2名
	大手前病院	2名
	大野記念病院	3名
	四天王寺病院	1名
	思温病院	2名
	多根総合病院	1名
	富永病院	2名
	内藤病院	2名
	なにわ生野病院	2名
	日生病院	2名
	朋愛病院	1名
	地域包括支援センター	1名
	浪速区医師会事務局	1名

製品説明 バイエル薬品㈱

今回は記念すべき第80回目の開催ということもあり、改めて連携病院へアンケートをお願いし、それをもとに議題が進行された。また、思温病院から1月より院長に就任された先生がお越しになり、大野記念病院からも新たな参加があった。

議題

1. 第79回病診連携委員会報告について

前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。

2. 連携病院へのアンケート結果について

背景として、我が国の医療事情として、地域包括ケアシステムの構築が早急の課題であり、それに際して行政とともにコーディネーター事業を勧めていく事となる。大阪府医師会でも向こう3年間は少なくともコーディネーター事業を継続していくということであり、その方向性として3つの指針が示された。①在宅での急変時の対応、救急搬送のシステム構築（=病診連携）、②病病連携の充実、③他地区での連携（広域連携）が必要となる。そこで各病院の受け入れ態勢の現状はいかがなものかという事をアンケートにて回答をいただいた（アンケート結果は別紙参照）。

【救急対応可能科目と特徴】

愛染橋病院：内科、小児科（総合周産期母子医療センターの指定を受け、未熟児・ハイリスク妊婦の365日24時間対応をしている。その他在宅療養後方支援病院として在宅医療を支えている。包括ケア病棟もあり。

育和会記念病院：循環器内科、脳卒中内科・外科、整形、消化器内科・外科、呼吸器科、泌尿器科（一般218症、内HCU12床、地域包括ケア病床47床、計265床）

NTT西日本病院：循環器内科、整形、消化器内科・外科、呼吸器内科、透析、泌尿器科、耳鼻科（地域包括ケア病棟を開設、今後レスパイト入院や在宅からの受け入れも検討）

大手前病院：循環器内科、脳卒中内科・外科、消化器外科、呼吸器科、耳鼻科、神経内科（平日、時間内は救急専門の医師が1名おり、いったん受診後、必要に応じ専門家へ院

内紹介を行っている。循環器科は『循環器ホットライン』にて24時間365日対応が可能)
大野記念病院：脳卒中内科・外科、整形、消化器内科・外科、透析、泌尿器科（透析設備の充実に伴い、腎臓内科医、泌尿器科医の人数も揃っている。また消化器内科医も5名体制になっており今後検査を含め積極的に進めていく）

四天王寺病院：救急受け入れは基本的に行っておらず。事前に予約入院を受け入れる事は可能。

思温病院：整形、外科（基本救急対応はできないが、外科医が赴任しているため腸管穿孔の外科的治療等は可能となっている。基本的には軽傷例での受け入れとなるなお3月1日より病棟再編成がなされ、地域包括病棟も3階に有する）

多根病院：循環器内科、脳卒中内科・外科、整形、消化器内科・外科、呼吸器内科、婦人科、泌尿器科、耳鼻科、神経内科（脳卒中、循環器、急性腹症、消化管出血を中心に救急医療に力を注いでいる。また日帰り手術として鼠径ヘルニア、下肢静脈瘤、脊椎内視鏡も積極的に受け入れている。がん治療に関しては内視鏡治療、外科的手術、毛も、RT、緩和ケアと一貫した治療のケアが可能）

富永病院：循環器内科・脳卒中内科・外科、神経内科（今年度は特に救急とリハビリに力を入れており、平成29年4月1日からは社会医療法人として、脳外科・循環器内科に特化した救急医療の提供をする事により、地域社会に貢献したいと考えている。またリハビリの拡充、整備とセラピストの増員を行い、入院中から集中したりハビリの提供、早期退院、社会復帰を目指すとのこと。退院後も訪問看護、訪問リハビリを提供していくとのこと）

内藤病院：基本的に救急受け入れは行っていないが、併設する施設からの急変時対応はおこなっているとのこと。

なにわ生野病院：循環器内科、整形、外科（外傷を受け入れていることや、水曜日、土曜日は夜間の緊急手術も行っている）

日生病院：循環器内科、脳卒中内科、消化器内科・外科、呼吸器科、小児科内科、泌尿器科、耳鼻科、神経内科（平成29年度より救急専門医を招聘し人員強化を図っている）

朋愛病院：循環器内科（4つの柱、血内・循環器、透析、リハビリを軸として、地域に根座した医療を目指していくとのこと。今後は東成区だけでなく、浪速区を含め広域に患者さんを増やしていきたいとのこと。

3. 本会の在宅医療連携の現状について

ブルーカード、Aケアカードの充実、広報活動を継続して行っていく。また、29年度より病診連携委員会のメーリングリストを構築し、より広域な医療連携を進める。

4. その他

(1) ブルーカード

登録件数 合計642件、浪速区内の医師より586件、他地区の医師から56件

使用状況 のべ件数 全例で600件、浪速区564件、他地区で36件

1月末日からの2カ月間の動向 計75件、新規17件、更新34件、入院6件、死亡7件。

次回会議予定 平成29年5月29日（月）午後7時45分～